



平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成30年4月17日(火)、小学6年生と中学3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

1 学力調査結果【本町平均、地区平均、県平均、全国平均】

※ 数字は正答率(%)「↑」は、県平均を上回ったもの

		国語A	国語B	算数/数学A	算数/数学B	理科
小学6年	大崎町平均	70	53	67↑	51↑	59
	大隅地区平均	68	50	61	46	58
	鹿児島県平均	70	53	64	49	59
	全国平均	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
中学3年	大崎町平均	74	58	60	42	63
	大隅地区平均	73	56	60	41	62
	鹿児島県平均	75	58	64	45	65
	全国平均	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

※国語、算数/数学ともにA問題は「主として知識」、B問題は「主として活用」を問う問題です。

※理科は、平成27年度以来、3年ぶりの実施となります。

(1) 【学力調査結果考察】

ア 小学6年生

算数Aが全国・県・地区と比較して高い結果となりました。また、国語A・B、算数B、理科については、全国平均には僅かに及ばなかったものの、県平均とほぼ同水準で、地区平均を上回る結果となっています。

イ 中学3年生

鹿児島県全体の学力調査結果は、全国と比較して全科目が下回る状況でした。このような中、本町では、全教科で地区平均を上回っているものの、県平均や全国平均には届きませんでした。

ウ 学力調査結果全体から

基本的な知識や技能について、よく身に付けている子供が多いです。その反面、問題の意味をつかんだり、解決方法を粘り強く考えたりすること、筋道立てて説明をしたりすること等に苦手意識をもっている子供が多く、授業改善して理解を深める必要があります。

本町では、これまで小中学校が連携し、情報交換や授業参観を継続してきました。教師の指導法や子供たちの学びについて改善策を話し合い、日々の授業につなげるようにしており、過去5年間の推移を見ると、改善傾向が見られます。今後も、町内各校の連携を図りながら、授業力の向上に一層努めていきます。